

# 「厳しい時こそ元気を」

## 緊急経済対策など国政報告

党 明 豊  
公 セ ミ ナー  
春 橋 新



「定額給付金は生活者を支援する」と訴える  
荒木代表―豊橋商工会議所で

第9回「新春公明党  
豊橋セミナー」が23日  
夜、豊橋商工会議所で  
同党県本部の荒木清寛  
代表(参議院議員)、伊  
藤副代表(衆議院議員)

員)、山本保副代表(元  
参議院議員)を講師に  
招いて開かれた。

渡会克明幹事長代行  
(県議)が「厳しい経済  
状況だが悲観主義から

何も生まれない。元気を  
出そう」とあいさつ。  
来賓の稲垣隆司副知  
事、佐原光一豊橋市長  
が、それぞれ県、市の財  
政の厳しさを説明した  
後、稲垣副知事は「(経  
済学者の)マーシャル  
の言葉『クールヘッド、  
ウォームハート』のよ  
うに、現状を冷静に分  
析し、弱者に温かい政  
策」を、佐原市長は「新  
しい地域づくりにつな  
がる投資」を、心がけた  
いとした。

荒木代表は、与党の  
緊急経済対策などを国  
政報告。「中小企業の緊  
急保証制度の対象を6  
98業種に増やした。  
調整段階で私も人材派  
遣業、出版社、ビルメン  
テナンスの3業種を追  
加できた」など、きめ細  
かな調整を強調。

また、同党提案の総  
額2兆円の定額給付金  
は、「同額を盛り込ん

だ)2次補正予算案は  
26日に成立するが、民  
主党は関連法案で反対  
する見通し。耐震補強  
に回せというが、それ  
はそれできちんとか  
る。本格的な経済対策  
の効果が出るまでの景  
気の下支えで、早く実  
施すべき」と、民主党の  
先延ばしを批判した。  
伊藤副代表も「給付  
金は、全額が消費に回  
ればGDPを0・24  
%、半額回っただけで  
も0・2%押し上げ

る。反対するならば、  
同案の効果を出せる対  
案を出すべき」と批判  
した。(杉浦文夫)